

# 福祉生活病院常任委員会資料

(令和3年5月21日)

## 【件名】

- 1 「第6回鳥取県コロナに打ち克つ新しい県民生活推進会議」の開催結果について  
(新型コロナウイルス感染症対策総合調整課) . . . 2
- 2 新型コロナウイルス感染症への対応について  
(新型コロナウイルス感染症対策推進課) . . . 4
- 3 新型コロナウイルスワクチン接種に向けた取組状況について  
(新型コロナウイルスワクチン接種推進チーム) . . . 6

新型コロナウイルス感染症対策本部事務局

# 「第6回鳥取県コロナに打ち克つ新しい県民生活推進会議」の開催結果について

令和3年5月21日  
新型コロナウイルス感染症対策総合調整課

新型コロナウイルス感染症を克服するための「新しい県民生活」の定着や県内の需要喚起に向けた取組を官民挙げて展開するため設置した「鳥取県コロナに打ち克つ新しい県民生活推進会議」を開催しましたので、開催概要を報告します。

1 開催日：令和3年5月11日（火）午後1時から2時20分

2 出席者：経済、産業、福祉保健、教育、県民、行政の各団体代表者（次ページのとおり）

3 議 題：現状及び緊急事態宣言を踏まえた国の支援策について  
意見交換

## 4 団体代表者からの主な意見と関係部局の対応

### 【県予算に関する意見】

- 観光業、飲食業、旅行業や取引業者、交通事業者など幅広い事業者への支援が必要（県商工会議所連合会）  
⇒新型コロナにより経営上の影響を受けた事業者の事業継続を支援するための応援金や交通事業者への運行継続の支援等に必要な予算案を5月臨時県議会に提案[コロナ禍打破特別応援金、交通事業者に対する新型コロナウイルス対策支援事業]
- 6月末期限の県の無利子・無保証料融資を延長して欲しい。（県観光連盟）  
⇒制度を9月末まで延長し、必要な予算案を5月臨時県議会に提案[新型コロナ克服特別金融支援事業]
- 5月末期限の第四波対策飲食店等感染防止対策強化緊急応援事業を延長して欲しい。（県食品衛生協会）  
⇒事業を6月末まで延長し、必要な予算案を5月臨時県議会に提案[第四波対策飲食店等感染防止強化緊急応援事業]
- 5月末期限のWeLove山陰キャンペーンの期間延長をお願いしたい。（県観光連盟、県中小企業団体中央会）  
⇒キャンペーンを8月末まで延長し、必要な予算案を5月臨時県議会に提案[新型コロナから立ち上がる観光支援事業]
- 3月まで実施していた前売り宿泊券事業に引き続き取り組んで欲しい。（県観光連盟）  
⇒事業に必要な予算案を5月臨時県議会に提案[新型コロナ対策お楽しみ券応援事業]
- 宿泊事業者が行う前向き投資等を支援する、国の「地域観光事業支援」の補助率1/2の嵩上げをお願いしたい。（県観光連盟）  
⇒補助率3/4に嵩上げする予算案を5月臨時県議会に提案[宿泊事業者新型コロナ感染防止対策事業]
- 県産農畜産物の販売促進、消費拡大対策への支援をお願いしたい。昨年度実施した巣ごもり応援事業を今年度も実施して欲しい。（JA中央会）  
⇒事業に必要な予算案を5月臨時県議会に提案[農林水産物消費回復緊急支援事業]
- 訪問看護や機器整備など自宅療養の環境整備が必要。（県看護協会）  
⇒事業に必要な予算案を5月臨時県議会に提案[鳥取方式在宅療養体制整備事業]

### 【その他の意見】

- 全国同一条件での雇用調整助成金の特例措置の延長が必要。（県商工会議所連合会、県中小企業団体中央会、県観光連盟）  
⇒全国知事会等を通じて引き続き国に要望していく
- 保護者等に対して、支援制度や相談窓口などわかりやすいチラシ等で周知して欲しい。（県PTA協議会）  
⇒わかりやすいチラシの作成・配布やホームページの工夫などにより保護者等に周知を行う

## 第6回鳥取県コロナに打ち克つ新しい県民生活推進会議出席者名簿

(敬称略)

分野	団体	職名	氏名	備考
経済	鳥取県商工会議所連合会	会長	児嶋 祥悟	
経済	鳥取県商工会連合会	会長	河毛 寛	
経済	鳥取県中小企業団体中央会	会長	谷口 譲二	
産業	公益社団法人 鳥取県観光連盟	会長	河越 行夫	代理出席 副会長 小谷 文夫
産業	鳥取県農業協同組合中央会	専務理事	谷垣 重彦	
産業	公益財団法人 鳥取県生活衛生営業指導センター	事務局長	小畑 正一	
産業	鳥取県旅館ホテル生活衛生同業組合	専務理事	小谷 文夫	
産業	鳥取県飲食生活衛生同業組合	女性部長	宍道 真理子	欠席
産業	一般社団法人 鳥取県食品衛生協会	会長	望月 進	
福祉保健	社会福祉法人 こうほうえん	理事長	廣江 晃	欠席
福祉保健	公益社団法人 鳥取県医師会	理事	秋藤 洋一	代理出席 事務局長 谷口 直樹
福祉保健	公益社団法人 鳥取県看護協会	会長	内田 眞澄	
福祉保健	鳥取市民健康づくり地区推進員連絡会議	会長	竹森 潔	欠席
教育	鳥取県PTA協議会	会長	松岡 智也	
報道	株式会社 新日本海新聞社	地域プロデュー ス局長	小谷 和之	欠席
県民	公益財団法人 とっとり県民活動活性化センター	事務局長	毛利 葉	
県民	とっとり県消費者の会	会長	福井 靖子	欠席
県民	日本労働組合総連合会鳥取県連合会	会長	本川 博孝	代理出席 事務局長 田中 穂
行政	鳥取県市長会	会長	深澤 義彦	
行政	鳥取県町村会	会長	宮脇 正道	
有識者	国立大学法人 鳥取大学	教授	景山 誠二	欠席
有識者	国立大学法人 鳥取大学	教授	浦上 克哉	欠席
有識者	学校法人藤田学院 鳥取看護大学	教授	荒川 満枝	欠席

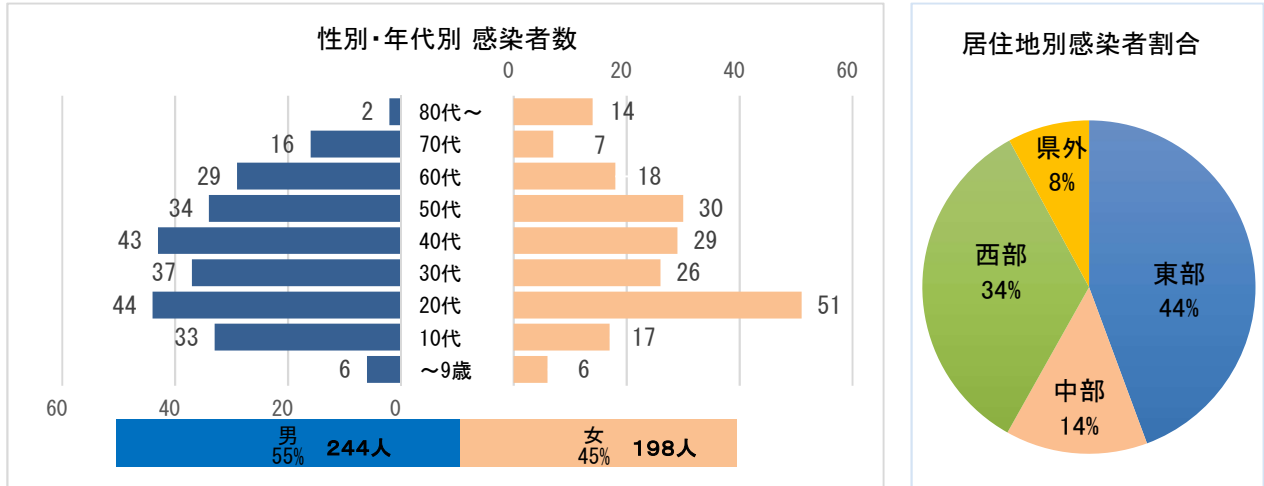
# 新型コロナウイルス感染症への対応について

令和3年5月21日  
新型コロナウイルス感染症対策推進課

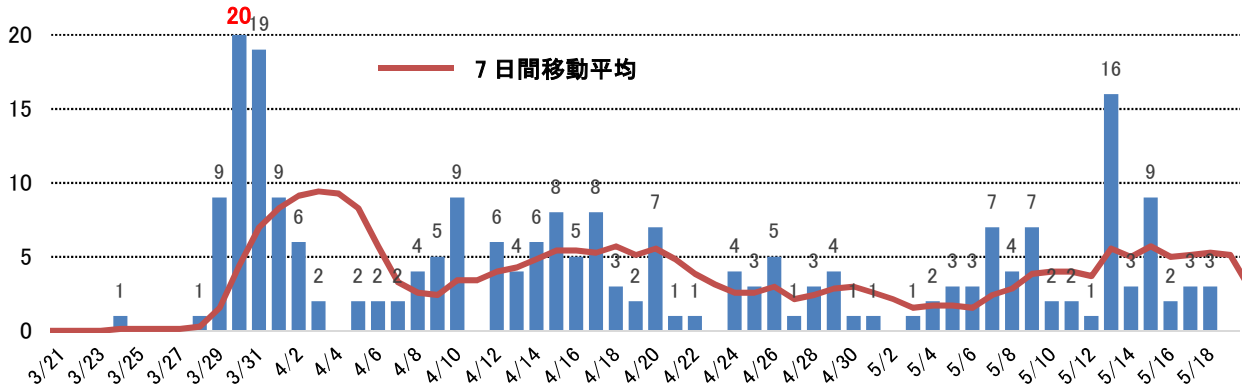
## 1 県内における感染者の発生状況（5月19日現在、発表日ベース）

### (1) 感染者数（累計）

442名（鳥取市保健所211名・倉吉保健所61名・米子保健所170名）



### (2) 感染者数の推移（令和3年3月以降）



### (3) クラスター発生状況（令和3年4月21日以降）

番号	確認日	発生施設	所在地	陽性者数（※）	検査件数
11 例目	R3.5.13	鳥取商業高等学校 (大体育館・バレーボール部部室)	鳥取市	9人 (13人)	744件

(※) カッコ内は関連する陽性者を含めた人数

## 2 検査実施状況（累計）（5月19日現在）

・ 県衛生環境研究所等における検査	計 20,770 件（うち陽性 372 件）
・ 医療機関等における検査	計 46,518 件（うち陽性 68 件）
・ 民間検査機関における検査（自主検査等）	計 2,189 件（うち陽性 2 件）
合計	計 69,477 件（うち陽性 442 件）

**【変異株スクリーニング検査実施状況】**

期間（週別）	陽性者 発表件数	スクリーニング 検査実施件数（A）	陽性件数（B）	割合 （B） / （A）
3/29（月）～4/ 4（日）	64	63	15	24%
4/ 5（月）～4/11（日）	24	24	23	96%
4/12（月）～4/18（日）	40	38	33	87%
4/19（月）～4/25（日）	18	15	12	80%
4/26（月）～5/ 2（日）	15	14	12	86%
5/ 3（月）～5/ 9（日）	27	25	25	100%
5/10（月）～5/16（日）	35	32	32	100%

**【衛生環境研究所におけるゲノム解析の実施】**

- ・ 5月17日から次世代シーケンサーによる全ゲノム解析を開始（5月は試験運用。6月から本格運用予定。）
- ・ 変異株の判定を速やかに行い、県民へ警戒情報の早期発出、医療機関や高齢者施設等への情報提供により、感染予防の強化につなげていただきたい。

**3 新型コロナ警報の発令状況（5月19日現在）**

地区	注意報	警報	特別警報
東部	—	5月13日～	—
中部	倉吉市以外：3月29日～	倉吉市：3月30日～	—
西部	米子市以外：3月30日～	米子市：4月9日～	—

**4 新型コロナ感染増大警戒情報の発令状況（5月19日現在）**

4月23日から発令レベルを2段階に設定し、状況に応じてより厳重な警戒を促すこととした。

**（1） 厳重警戒レベル**

東部地区（4月23日に鳥取市に発令後、5月13日に東部地区に拡大）

**（2） 警戒レベル**

倉吉市（5月7日発令）、米子市（5月7日発令）

**【各レベルの目安と対応例】**

レベル	目安	対応例
警戒 レベル	<ul style="list-style-type: none"> <li>・一定期間に特定地域、特定グループでウイルス量の多い感染者が複数認められる場合</li> <li>・従来の株よりも感染力が高い変異株が複数確認された場合</li> </ul>	入念に都度都度手洗い、マスク徹底、「密閉」「密集」「密接」の徹底回避など、感染防止レベルアップ
厳重警戒 レベル	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ウイルス量が特に高いものが複数確認された場合（健康観察中の者は除く）</li> <li>・1週間当たりの平均 Ct 値が相当程度低い場合</li> </ul>	さらに、 <ul style="list-style-type: none"> <li>・屋外、短時間の会話でもマスク着用</li> <li>・家族など以外との会食を控える</li> <li>・出勤人数の縮小、交代勤務の推奨</li> </ul>

# 新型コロナウイルスワクチン接種に向けた取組状況について

令和3年5月21日

新型コロナウイルスワクチン接種推進チーム

## 1 ワクチン接種のスケジュール

ワクチンの供給は順次行われる見通しであることから、国が接種順位と接種の時期を公表し、順次接種していくこととされており、医療従事者等、高齢者、基礎疾患のある者や高齢者施設等の従事者、一般の者の順に接種が進められる。

	2月	3月	4月	5月	6月	7月以降
医療従事者等向け 先行接種 (国が調整)		2/22~ 接種開始	3月29日 接種完了			
医療従事者等向け 優先接種 (県が調整)		3/8~接種開始				
高齢者向け 優先接種 (市町村が調整)			4/15~接種開始			

## 2 医療従事者等向け先行接種・優先接種

### (1) ワクチンの国からの供給状況（すでに必要量は確保されている）

	1	2	3	4	5	6	7	8
時期	2/18 (先行接種)	3/4、3/5 3/10、3/12	3/25、3/26 3/31、4/2	3/24 4/3	4/18 4/21	4/14 4/21、4/22	5/7、5/8、5/9 5/14、5/15	5/14
数量	3箱	6箱	6箱	2箱	2箱	12箱	12箱	4箱
配布先	鳥取医療センター (1箱) 米子医療センター (1箱) 山陰労災病院 (1箱)	県立中央病院 (3箱) 県立厚生病院 (1箱) 鳥取大学病院 (2箱)	県立中央病院 (3箱) 県立厚生病院 (1箱) 鳥取大学病院 (2箱)	鳥取大学 病院 (2箱)	鳥取大学 病院 (2箱)	県立中央病院 (5箱) 県立厚生病院 (3箱) 鳥取大学病院 (4箱)	県立中央病院 (5箱) 県立厚生病院 (3箱) 鳥取大学病院 (4箱)	鳥取大学 病院 (4箱)

※県立中央病院、県立厚生病院、鳥取大学病院からその他の病院等の接種会場へワクチンが分配される。

※No. 1、6～8の供給分については、国から6回接種用の針・シリンジが供給される。

### (2) 接種の状況（5/14時点）

区分	接種回数	うち1回目	うち2回目	備考
医療従事者等	30,767回	19,833回	10,934回	V-SYSへの報告数

○新型コロナウイルス患者受入病院の医療職・高齢者向け優先接種を担当する接種医等については、4月中に2回目の接種が完了。

○その他の医療従事者等については、6月末までには2回の接種を完了する見込み。

## 3 高齢者向け優先接種

### (1) ワクチンの国からの供給状況

区分	期間	数量	各市町村への配分数
第1クール	4/5～の週	2箱	鳥取市 58箱 琴浦町 10箱 米子市 61箱 北栄町 7箱 倉吉市 30箱 日吉津村 2箱 境港市 16箱 大山町 11箱 岩美町 8箱 南部町 7箱 若桜町 3箱 伯耆町 9箱 智頭町 5箱 日南町 5箱 八頭町 8箱 日野町 4箱 三朝町 4箱 江府町 3箱 湯梨浜町 6箱 <合計 257箱>
第2クール	4/12～の週	10箱	
第3クール	4/19～の週	10箱 ・市町村に7箱 ・県に3箱プール	
第4クール	4/26～の週	19箱	
	4/26～の週 5/3～の週	19箱 ここで3箱も配布	
第5クール	5/10～の週 5/17～の週	53箱	
第6クール	5/24～の週 5/31～の週	72箱 国から確約されていたのは 71箱であったが、要求量全量 が配分された。	

第7クール	6/7～の週 6/14～の週	72箱 国から確約されていた71箱に対し、各市町村から合計77箱の要求があり、調整の結果72箱が配分された。	
第8クール	6/21～の週 6/28～の週	68箱（国の配分計画）	今後調整

## (2) 接種の状況

区分	接種回数	うち1回目	うち2回目	備考
高齢者優先接種	12,874回	11,010回	1,864回	VRSへの報告数 (5/16現在)

○県内のワクチン接種に伴う副反応疑いとして、国から県に対して報告のあった事案は16件。(5/17現在)

〔4件はアナフィラキシーの疑いありとの報告であったが、翌日には軽快。  
12件はアナフィラキシーや重篤な事案ではなく、当日又は翌日には回復・軽快。〕

## 4 市町村が実施するワクチン接種に対する支援

○市町村が実施するワクチン接種が円滑に実施できるよう、市町村との意見交換会等を開催し、情報共有や意見交換を行うとともに、地区医師会等の関係団体等に県からも協力を要請するなど、県下一丸となった取組が実施できるよう、市町村の支援を行っている。

(各圏域ごとに市町村や地区医師会等の関係団体との意見交換や調整を随時実施。)

○4月14日、鳥取県東部1市4町に兵庫県香美町及び新温泉町を加えた「因幡・但馬麒麟のまち連携中枢都市圏」における県域をまたぐ共同接種体制の構築について、鳥取・兵庫両県知事間において合意した。

○県中部の1市4町における共同接種の協定が4月22日に締結された。これによって、中部1市4町の住民は圏域内のワクチン接種協力医療機関であれば、住所地外申請の手続きをすることなく、ワクチン接種をすることが可能となった。(5月20日開始)

## 5 県が設置する臨時接種会場

市町村で行われている高齢者等に対するワクチン接種を後押しするため、県内に集団接種方式での臨時接種会場を設置することについて、5月19日、新型コロナウイルスワクチン接種体制協議会分科会において協議をし、6月中旬に鳥取市及び米子市に接種会場を設置することで調整中。

会場	東部：鳥取県立中央病院 多目的ホール 西部：鳥取県西部総合事務所 講堂
日程	6月中旬から7月末
接種人数	1会場あたり1日200人程度 → 運用状況を見て拡大検討
対象者	鳥取市及び米子市在住の65歳以上の高齢者
ワクチン	モデルナ社製ワクチン
予約方法	鳥取市、米子市に申し込み
従事者	医師、歯科医師、看護師、薬剤師、県看護学校教員等及び在宅保健師等 (接種を行う歯科医師のために、実技研修を実施。)

## 6 専門相談窓口での相談対応

県民からの問い合わせや相談のうち、市町村において対応が困難な専門的なものに対応できるよう、令和3年3月8日(月)に専門相談窓口を設置し、相談に応じている。(鳥取県看護協会に委託実施) 相談件数：1,066件(5/16時点)

<p>新型コロナワクチン相談センター（鳥取県看護協会内） 午前9時から午後5時15分まで対応（土日、祝日も対応） 電話：0120-000-406 ファクシミリ：0857-50-1033</p>
--